

学校の教育目標

21世紀は、共生と創造の時代  
子どもたちが自ら進んで、たくましく「生きる力」をはぐくむ。また、環境や資源を守り、民族の平和を願う信念を培うとともに、豊かに成長することを願い、次の教育目標を定める。

・慈愛 ・自主・自律 ・創造

「総合的な学習の時間」のねらい

3年間を見通し、組織的・系統的な計画に基づく、各教科をこえた課題解決能力の向上を目指す。  
体験的な学習や主体的な課題設定により学習、情報機器の活用を図るなど、多様な学習方法を取り入れ、生徒が表現するための思考力や行動力の育成を目指す。

指導の重点

多様な活動を通して、生き方を考え、自己実現を図ろうとする態度を育成する。  
他者との共同体験活動を通して、望ましい人間関係を築き、共に生きていく(共生)姿勢や態度を育てる。  
課題解決の過程を通して、自分で学ぶことの大切さ、おもしろさ、楽しさを実感させ、生涯にわたって、自らを高めようとする意識と意欲をもたせる。  
体験的な学習や主体的な課題設定による学習、情報機器の活用を図るなど、多様な学習方法を取り入れ、生徒の主体的な学習活動を推進する。  
国際理解教育を推進する。異文化理解・自国の文化理解とともに、他者理解・自己理解の態度を育てる。

総合学習の主題

未来・自己実現

1年生：健康学習・国際理解教育  
進路学習（職場訪問）

学習スキル（方法）を学ばせ、身に付けさせる。  
体験学習から、興味・関心を広げ課題発見・解決のきっかけづくりをする。  
発表の仕方を工夫させる。

2年生：個人課題追求・国際理解教育  
進路学習（上級学校訪問）

体験や班での課題追求の1年次の経験から「自己の耕し」を行わせ、発展的な個人課題の設定・追求をする。  
発表の仕方も含め、様々なアドバイスを行う。

3年生：個人課題追求・国際理解教育  
修学旅行（実地検証）

2年間の経験の下に、自分の興味・関心に基づく課題発見・解決の学習に取り組み、発表する。  
3年間の総合の成果をみせる。  
修学旅行での実地検証を活かす学習をする。

取り組み計画

前期

- 4月 オリエンテーション・総合学習について。概略の説明・調べ方の指導
- 5月 「健康」に関する学習
- 6月 国際理解教育
- 7月 題材の提示・調査活動
- 8月 校外での調べ学習
- 9月 調べ学習の発表・ポスターセッション
- 10月 食に関する学習・校外学習
- 11月 「働くこと」に関する学習
- 12月 移動教室準備
- 1月 移動居室・発表準備
- 2月 プレゼンテーション
- 3月 1年間のまとめ

取り組み計画

前期

- 4月 オリエンテーション・個人課題設定準備
- 5月 進路学習（上級学校とは）
- 6月 国際理解教育
- 7月 個人課題決定・進路（上級学校訪問）
- 8月 個人課題追求
- 9月 個人課題中間発表
- 10月 校外学習の準備・校外学習
- 11月 個人課題の追求
- 12月 移動教室の準備
- 1月 移動教室・課題発表準備
- 2月 進路・希望校の調査
- 3月 個人課題2年次最終報告会
- 1年間のまとめ

取り組み計画

前期

- 4月 オリエンテーション・個人課題設定準備  
修学旅行の事前準備
- 5月 個人課題決定（英国と日本の文化・歴史・産業等に関連した個人テーマなど）
- 6月 国際理解教育・中間まとめ
- 7・8月 個人課題追求
- 9月 事前準備 修学旅行（実地検証）
- 10月 個人課題追求作業
- 11月 進路実現への準備
- 12・1月 個人課題の完成へ
- 2月 発表の準備
- 3月 個人課題の最終発表会  
「命を守る」心肺蘇生訓練（3時間）  
3年間のまとめ

学年・学級の連携

組織的に実施する・（学校全体での組織体制作り）  
連絡調整を行う。

小学校との連携

発表を授業公開する。（案内を配布）  
体験授業  
合同講演会  
授業交換

関連機関との連携

調べ学習・体験学習においてその協力をお願いする。  
情報を交換する。

環境の整備、その他

学習効果を高める工夫をする。情報機器・図書室の整備など。  
外部機関の方との連携

家庭・地域との連携

協力・理解を図りながら展開する。  
活力・地域資産を最大限に活かす。